

音楽年表

- 平成元年(1989)**
第1回全日本高等学校選抜吹奏楽大会を開催
- 平成2年(1990)**
ポーランドのワルシャワ市と音楽文化友好交流協定を締結
- 平成3年(1991)**
イタリアのサンレモ市と音楽文化友好交流協定を締結
世界青少年音楽祭を開催
- 第1回浜松国際ピアノコンクール開催**
- 平成4年(1992)**
ハママツ・ジャズ・ウィークがスタート
- 平成7年(1995)**
日本初の公立の楽器博物館がオープン
アジアで初めて世界吹奏楽大会を開催
鈴木重子がNYのブルーノートでデビューライブ
チェコ共和国プラハ国立劇場とアクトシティが音楽文化友好交流協定を締結
- 平成8年(1996)**
浜松国際ピアノアカデミーを開催
アメリカのロチェスター市と音楽文化友好交流協定を締結
- 平成9年(1997)**
高円宮殿下が全国アマチュアオーケストラフェスティバル浜松大会をご視察。
- 平成10年(1998)**
浜松市アクトシティ音楽院を開設
浜松国際ピアノコンクールが国際音楽コンクール世界連盟に加盟
- 平成13年(2001)**
インターネット博覧会で、ハビリオン「楽器と音楽のまち浜松発-音の器-」が、新千年紀記念行事懇話会座長賞受賞
- 平成19年(2007)**
やらまいかミュージックフェスティバルを開催
- 平成21年(2009)**
札幌市と音楽文化都市交流宣言を締結
- 平成23年(2011)**
上原ひろみがグラミー賞を受賞
- 平成26年(2014)**
イタリアのローマと音楽文化都市交流に関する覚書調印
アジアで初めてユネスコ創造都市ネットワークの音楽分野に加盟
宝塚市との音楽文化交流を開始
- 平成27年(2015)**
世界創造都市フォーラムin浜松2015を開催
- 平成28年(2016)**
世界音楽の祭典in浜松2016を開催
- 平成29年(2017)**
世界最大の楽器見本市「NAMMショー」に浜松市ブース初出席
サウンドデザインフェスティバルを開催

日本人初!
浜松からジャズの歌姫誕生

幼い頃からピアノや声楽に親しんだ鈴木重子は、東京大学進学後にジャズ・ヴォーカルを始め、日本人で初めて、ジャズの殿堂であるニューヨークの「ブルーノート」でデビューした。様々なジャンルの曲を独自のスタイルで表現し、聴き手の心を静かな場所へと誘う歌声のルーツは、幼少時から聴いていたクラシック音楽。平成30年には、ハママツ・ジャズ・ウィークに出演するなど、地元浜松を愛し、多くの人を魅了している。

アクトシティ浜松 浜松市中区板屋町111-1 MAP 20
<http://www.actcity.jp/>



世界最高峰の音楽賞受賞

平成23年(2011)
上原ひろみがグラミー賞を受賞

学生時代から音楽に触れる毎日を送っていた上原ひろみは、平成11年にボストンの「パークリー音楽院」に入學し、ジャズの名門テラークと契約。15年に世界デビューを果たし、23年にはグラミー賞を受賞した。躍動感あふれる独特な音楽で、すべての人を元気づけ笑顔で包み込む。世界的ジャズピアニストの上原ひろみは、「音楽の都 浜松」のブランドを世界中で発信し続けている。

※第53回グラミー賞「ベスト・コンテンポラリー・ジャズ・アルバム」
アクトシティ浜松 浜松市中区板屋町111-1 MAP 21
<http://www.actcity.jp/>

平成26年(2014)ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野加盟

アジアで唯一の「音楽の都」確立へ

浜松国際ピアノコンクールなどの文化事業、楽器メーカーによる音楽振興事業、楽器博物館の開設、市民一体で創り出す数々の音楽の祭典、世界レベルの音楽家の輩出など、浜松は音楽のまちづくりに力を入れてきた。これらの取組成果が、平成26年にアジア初のユネスコ創造都市ネットワークへの加盟という形で世界から認められた。27年には加盟都市を招いた「世界創造都市フォーラムin浜松2015」、28年には13都市からアイティストを招いて「世界音楽の祭典in浜松2016」を開催。また、アメリカにおける世界最大級の楽器見本市「NAMMショー」に、自治体として異例の招待を受け、音楽の都に関するプレゼンテーションを行った。その後も市内の楽器メーカーが毎年出展している。29年には、参加者が見て・触れて・聴いて、音の可能性を体感する「サウンドデザインフェスティバル」を開催。音の可能性に着目した全国初の試みで、老若男女が楽しめる機会を設けた。音楽を通して街を盛り上げる、音楽文化を世界へと発信し続けている浜松は、音楽の都へと着実に歩みを進めている。

アクトシティ浜松 浜松市中区板屋町111-1 MAP 22
<http://www.actcity.jp/>

平成7年(1995)
鈴木重子がNYのブルーノートでデビューライブ



18 **世界トップグレードのピアノコンクール始動**

浜松国際ピアノコンクール(通称「浜松コン」)は、「楽器の街」から「音楽の街」となった浜松を、「音楽の都」に昇華させるため、平成3年、市制80周年記念として始まった。3年に一度開催される国際的文化的な事業である。「世界を目指す若いピアニストたちに日頃の研鑽の成果を披露する場の提供と育成」、「世界の音楽文化の振興」、「国際交流の推進」の3つを目的にスタートした。初回は浜松市民会館で開幕し、第2回以降はアクトシティを会場に開催。第3回の翌年には国際音楽コンクール世界連盟への加盟が認められ、世界トップグレードのピアノコンクールとして格付けされることになった。その後、世界レベルの優秀な若手ピアニストの発掘に向けて応募資格年齢の下限を廃止し、第7回では



15歳のチヨ・ソンジン(韓国)が優勝。その後、シヨバン国際ピアノコンクールを制するなど世界の頂点に立ったこととして浜松のレベルの高さを改めて世界に知らしめることとなった。浜松コンは、審査員・出場者・聴衆の満足度の高さも特徴であるが、その裏には、最高の品質と調律技術で貢献し続けるピアノメーカー(カワイ・スタインウェイ・ヤマハ)の熱い想いと努力がある。さらに、総勢1000名以上の市民ボランティアたちによって、コンクール会場の運営からホストファミリーの受け入れまで、そのサポート体制は世界に類を見ない手厚さである。今や、世界のピアノ界の登竜門となった浜コン。世界を席巻するピアニストの誕生が待ち遠しい。

平成3年(1991)
第1回浜松国際ピアノコンクール開催

MUSIC
HAMAMATSU
HEISEI

音楽の都へステツプアップ

世界に名立たる楽器メーカーが立地し「楽器のまち」として知られてきた浜松。音楽分野における様々な取り組みにより、「音楽の都」へと大きく飛躍した。

アクトシティ浜松 浜松市中区板屋町111-1 MAP 18
<http://www.actcity.jp/>

平成7年(1995) 浜松市楽器博物館が開館

世界に誇る唯一無二の楽器博物館が誕生



音楽の街づくりの一環として、平成4年から開館準備が始められ、7年にオープンした浜松市楽器博物館。公立として「日本唯一」と紹介されることが多いものの、アジア最大級の規模で内容も世界屈指の博物館である。約1500点もの世界の楽器が展示され、充実した映像・音響設備とともに体感できる。また、特別展やレクチャーコンサートなどを含め、多彩な活動の中でCDやDVDも制作しており、コレクションシリーズCD・No.38「イギリス・ソナタ」は、24年に文化庁芸術祭レコード部門最高賞の芸術祭大賞を受賞。これらの活動により、26年には民族音楽学で最も権威のある小泉文夫音楽賞を受賞した。現在では国際会議への招待や博物館会議への参加など海外活動も増え、音楽の都の拠点施設となっている。30年6月には入館者数200万人を達成。11月には天皇皇后両陛下もご視察された。

浜松市楽器博物館 浜松市中区中央3-9-1 MAP 19
<http://www.gakkihaku.jp/>